

# 令和3年度とちぎっ子学習状況調査 壬生町全体の調査結果

## 1 目的

本調査の実施により本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

## 2 調査実施日 令和3年5月27日(木) 全国学力・学習状況調査と同一日

## 3 調査の対象

(1) 県内の公立学校に在籍する以下の学年の全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査

小学校第4・5学年、義務教育学校前期課程第4・5学年、特別支援学校小学部第4・5学年

イ 中学校調査

中学校第2学年、義務教育学校第8学年、県立中学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年

(2) 特別支援学校、小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

## 4 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語・算数・理科の3教科、中学校調査は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科とする。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までの学習内容とする。

(ウ) 出題内容は、学習指導要領に基づき、教科の目標及び内容に即した基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等に関わる内容とする。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、家庭学習等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という）を実施する。

(2) 学校に対する調査

学校における指導に関する取組や学習環境等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という）を実施する。

## 5 学年・教科ごとの調査実施児童生徒数（壬生町）

|        | 国語   | 算数   | 理科   | 社会   | 英語   |
|--------|------|------|------|------|------|
| 小学校4年生 | 320人 | 320人 | 320人 |      |      |
| 小学校5年生 | 324人 | 324人 | 324人 |      |      |
| 中学校2年生 | 312人 | 312人 | 312人 | 312人 | 312人 |

## 6 本調査の実施に関する壬生町教育委員会の考え方

- (1) 本調査は、各学校が児童生徒の学力・学習状況を的確に把握し、指導方法の工夫改善に役立てるために積極的に活用を行う。
- (2) 本調査は学校間、児童生徒個人の序列化や比較を行うものではない。
- (3) 壬生町教育委員会は、栃木県教育委員会の方針にしたがい、本町及び全小中学校の数値データを一括公表することは行わない。

## 7 とちぎっ子学習状況調査 壬生町全体の調査結果の概要

### ○小学校4年生の状況

#### 【小学校4年国語】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎」…県平均とほぼ同じ値である。

「活用」…県平均よりやや高い値である。

#### 《領域別・内容別》

○「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」の領域は県平均を上回った。中でも「書くこと」の領域は県平均よりかなり高い値である。

●「我が国の言語文化に関する事項」「読むこと」の領域は県平均よりやや低い値であり、「情報の取り扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」の領域は県平均より低い値である。

○内容的に「言葉の学習」する能力が優れている。

特に「文章を書く」の内容では、すべての問題の正答率が県平均を大きく上回っている。

#### 《出題形式別》

○「記述式」の正答率は県平均よりかなり高い値である。

●「選択式」「短答式」の正答率は県平均よりやや低い値である。

#### 【小学校4年算数】

《教科総合》…県平均とほぼ同じ値である。

「基礎」…県平均とほぼ同じ値である。

「活用」…県平均よりやや低い値である。

#### 《領域・内容別》

○「図形」の領域は県平均とほぼ同じ値である。

●「測定」と「データの活用」の領域は県平均よりやや低い値である。

○内容的に「わり算」の分野が優れている。

●内容的には「大きい数・小数・分数」の分野を伸ばしていく必要がある。

### 《出題形式別》

- 「選択式」「短答式」「記述式」の正答率は県平均とほぼ同じ値である。

### 【小学校4年理科】

《教科総合》…県平均よりやや低い値である。

「基礎」…県平均とほぼ同じ値である。

「活用」…県平均より低い値である。

### 《領域・内容別》

- 「生命・地球」の領域は県平均とほぼ同じ値である。「物質・エネルギー」の領域は県平均よりやや低い値である。

- 内容的には「こん虫のからだのつくり」「じしゃくのせいしつ」の分野を伸ばしていく必要がある。

### 《出題形式別》

- 「選択式」の正答率は県平均とほぼ同じ値である。
- 「短答式」の正答率は県平均より低い値である。
- 「記述式」の正答率は県平均よりやや低い値である。

### 【小学校4年意識に関する調査】

- 「学校の宿題は、自分のためになっている」「授業では、クラスの友達との間で話し合う活動をよく行っている」「授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されている」「授業の最後に、学習したことをふり返る活動をよく行っている」「授業であつかうノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いている」という質問に対しての肯定的答えが県平均より高い値である。
- 「クラスの友達との間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」「だれに対しても、思いやりの心をもって接している」「自分のよさを人のために生かしたいと思う」「家の人としょう来のことについて話すことがある」という質問に対しての肯定的答えが県平均より高い値である。
- 「国語・総合的な学習の時間が好きである」「算数の授業で問題のとき方や考え方が分かるようにノートに書いている」という質問に対しての肯定的答えは県平均より高い値である。

## ○小学校5年生の状況

### 【小学校5年国語】

《教科総合》…県平均より高い値である。

「基礎」…県平均より高い値である。

「活用」…県平均より高い値である。

### 《領域別・内容別》

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全領域で県平均より高い値である。中でも「我が国の言語文化に関する事項」及び「書くこと」は県平均よりかなり高い値である。
- 内容的に「話し合いの内ようを聞き取る」「漢字を読む」「言葉の学習」「説明文の内容を読み取る」「文章を書く」能力が優れている。

### 《出題形式別》

- 「選択式」の正答率は県平均より高い値である。
- 「短答式」の正答率は県平均よりやや高い値である。
- 「記述式」の正答率は県平均よりかなり高い値である。

### 【小学校5年算数】

《教科総合》…県平均より高い値である。

「基礎」…県平均より高い値である。

「活用」…県平均よりかなり高い値である。

### 《領域・内容別》

- 「数と計算」「量と図形」の領域は県平均より高い値、「変化と関係」「データの活用」の領域は県平均よりかなり高い値である。
- 内容的には「小数」「億と兆・がい数の表し方」「わり算・計算のきまり」「面積」「いろいろな形」「簡単な場合についての割合」「折れ線グラフと表」の分野に優れている。特に「いろいろな形」「簡単な場合についての割合」の内容では、すべての問題の正答率が県平均を大きく上回っている。

### 《出題形式別》

- 「選択式」「短答式」の正答率は県平均より高い値である。
- 「記述式」の正答率は県平均よりかなり高い値である。

### 【小学校5年理科】

《教科総合》…県平均より高い値である。

「基礎」…県平均より高い値である。

「活用」…県平均より高い値である。

### 《領域・内容別》

- 「物質・エネルギー」及び「生命・地球」の領域共に県平均より高い値である。
- 内容的には「1年間の動物のようす」「1年間の植物の成長」「天気の様子と気温」「電気のはたらき」「物の体積と力」「物の体積と温度」「雨水のゆくえと地面のようす」「自然の中の水」「水の姿」「物のあたたまり方」の分野が優れている。特に「天気の様子と気温」「雨水のゆくえと地面のようす」の内容では、すべての問題の正答率が県平均を大きく上回っている。

### 《出題形式別》

- 「選択式」の正答率は県平均より高い値である。
- 「短答式」「記述式」の正答率は県平均よりかなり高い値である。

### 【小学校5年意識に関する調査】

- 「できるだけ自分一人の力で課題を解決しようとしている」「毎日の生活がじゅう実していると感じている」という質問に対しての肯定的答えが県平均より高い値である。また、「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている」「授業の中で、目標（めあて・ねらい）がしめされている」「授業であつかうノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いている」「クラスは発言しやすい雰囲気である」「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている」という質問に対しての肯定的答えがともに県平均より高い値である。

- 「家で、学校の授業の予習をしている」「家で、学校の授業の復習をしている」「家で、テストでまちがえた問題について勉強をしている」「学校の宿題は、やりたくなる内容だ」という質問に対しての肯定的答えが県平均より低い値である。

以上のことから、家庭学習を調整する力や様々なことに挑戦する力に課題があるので、家庭と連携を図り、自己管理能力を向上させる指導の手立てが必要と思われる。

## ○中学校 2 年生の状況

### 【中学校 2 年国語】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎・基本」…県平均よりやや高い値である。

「思考・判断・表現」…県平均より高い値である。

#### 《領域別・内容別》

- 「読むこと」の領域は県平均より高い値である。

「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は県平均よりやや高い値である。

- 内容的に「漢字を読む」「文法・語句に関する知識」「レポートを書く」の分野が優れている。

- 内容的に「作文」能力を伸ばしていく必要がある。

#### 《出題形式別》

- 「選択式」「短答式」の正答率は県平均よりやや高い値である。

- 「記述式」の正答率は県平均よりやや低い値である。

### 【中学校 2 年社会】

《教科総合》…県平均とほぼ同じ値である。

「基礎・基本」…県平均よりやや低い値である。

「思考・判断・表現」…県平均よりやや高い値である。

#### 《領域別・内容別》

- 「世界の諸地域」「古代までの日本」の領域は県平均よりもやや高い値である。

- 「世界の地域構成」の領域は県平均よりもやや低い値である。「中世の日本」「にほんの地域構成」の領域は県平均よりも低い値である。

- 内容的に「古墳時代まで」「飛鳥時代～平安時代」「古墳時代まで」の分野が優れている。

- 内容的に「日本の地域構成」「古墳時代まで（世紀の表し方）」「中世の日本」の分野を伸ばしていく必要がある。

#### 《出題形式別》

- 「選択式」の正答率は県平均とほぼ同じ値である。

- 「短答式」の正答率は県平均より低い値である。

- 「記述式」の正答率は県平均より高い値である。

### 【中学校 2 年数学】

《教科総合》…県平均よりやや高い値である。

「基礎・基本」…県平均よりやや高い値である。

「思考・判断・表現」…県平均よりやや低い値である。

### 《領域・内容別》

- 「図形」の領域は県平均よりやや高い値である。  
「関数」の領域は県平均よりかなり高い値である。
- 「数と式」の領域は県平均よりやや低い値である。
- 内容的に「比例・反比例」「平面図形」「資料の散らばりと代表値」の分野が優れている。
- 内容的に「1次方程式」「平面図形(作図)」の分野を伸ばしていく必要がある。

### 《出題形式別》

- 「選択式」「短答式」の正答率は県平均よりやや高い値である。
- 「記述式」の正答率は県平均よりやや低い値である。

## 【中学校2年理科】

《教科総合》…県平均より低い値である。

「基礎・基本」…県平均より低い値である。

「思考・判断・表現」…県平均より低い値である。

### 《領域・内容別》

- 「エネルギー」の領域は県平均よりやや高い値である。
- 「粒子」の領域は県平均よりやや低い値である。「生命」「地球」の領域は県平均より低い値である。
- 内容的に「音の性質」「力の性質」の分野が優れている。
- 内容的に「動物の分類」「火山」「地層」「植物の分類」「力の性質(つり合っている2つの力の関係)」の分野を伸ばしていく必要がある。

### 《出題形式別》

- 「選択式」「短答式」「記述式」の正答率は県平均よりも低い値である。

## 【中学校2年英語】

《教科総合》…県平均よりやや低い値である。

「基礎・基本」…県平均とほぼ同じ値である。

「思考・判断・表現」…県平均より低い値である。

### 《領域別・内容別》

- 「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域は県平均よりやや低い値である。
- 内容的に「語形・語法の知識・理解」「単語の並べ替えによる英作文」する能力が優れている。
- 内容的に「リスニング(さまざまな英文の聞き取り)」「語形・語法の知識・理解(whose)」「長文の読み取り」「場面に応じて書く英作文」「情報に基づいて書く英作文」「3文以上の英作文」する能力を伸ばしていく必要がある。

### 《出題形式別》

- 「選択式」の正答率は県平均よりやや低い値である。
- 「短答式」の正答率は県平均より高い値である。
- 「記述式」の正答率は県平均より低い値である。

## 【中学校2年意識に関する調査】

- 「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」「授業の中で、目標(めあて・ね

らい) が示されている」「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている」「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いている」「人と話すことは楽しい」「誰に対しても、思いやりの心をもって接している」という質問に対しての肯定的答えが県平均より高い値である。また、「国語・社会・理科の授業の内容はよくわかる」「社会・音楽の学習は好きである」「社会の学習は、将来のために大切だと思う」「歴史上の人物やできごとを扱っているテレビを見たり本を読んだりするのは好きだ」という質問に対しての肯定的答えが県平均より高い値である。

- 「できるだけ自分一人の力で課題を解決しようとしている」「授業で自分の考えを文章にまとめて書くことは難しい」「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である」「授業でわからないことがあると、先生に聞くことができる」「家の人と将来のことについて話することができる」という質問に対しての肯定的答えが県平均より低い値である。また、「英語の学習は好きである」「英語の授業のコミュニケーション活動において、コミュニケーションが途切れそうになるときは、さまざまな手立てを用いて、コミュニケーションを継続しようとしている」という質問に対しての肯定的答えが県平均より低い値である。

以上のことから、自分の考えを表現したり自信をもって主体的に活動したりすることに課題が見られるので、自己肯定感を高めたり、安心して学習に取り組める環境をつくることの工夫が必要と思われる。